

円政寺

円政寺は、1254年に大内氏の拠点として山口に創建された。大内氏は毛利家によって本州西部の地位を追われ、円政寺を本山とした。1604年、萩に都を移した毛利氏は萩城の近くに円政寺を移築した。19世紀半ばには、通称「円政寺」が「八重萩名所図画」にも記載されるようになり、この地域の礼拝所の中でその重要性を示している。

円政寺は真言宗の寺院で、境内には神道の神様も祀られている。現在では珍しいが、仏域を共有する（神社武家閣）という習慣は、1868年に仏教と神道が法的に強制的に分離された明治時代以前は珍しくなかった。寺の正面にある鳥居も、2つの宗教がいかに密接に絡み合っていたかを物語っている。

金刀比羅宮には絵馬があり、十二支の彫刻が施されている。入口の上には巨大な天狗の面がある。1838年に作られたもので、高杉晋作(1893-1867)にまつわる物語に関連している。高杉晋作は幼いころ、恐怖心を克服するために、その恐ろしい顔の前に連れてこられたと言われている。晋作は、1860年代に徳川幕府を打倒するために活躍した武士の一人に成長した。彼は、平民の新奇な準軍事組織への入隊を奨励し、1862年12月12日の江戸の英国公使館襲撃事件に関与したことで知られている。明治維新の実現に大きく貢献したが、結核のため28歳で死去した。

社殿内にある「金刀比羅大権現大鏡」は、1822年に作られた七宝背の大きな観賞用鏡（直径1.25メートル）である。一度は寺から持ち去られていたが、2006年に東京のオークションに出品され、多額の費用をかけて買い戻された。

もう一人の子供は、住職の従兄弟の11歳の息子、林利助で、1年半の間、寺の雑用をしながら書道と読書を学んだ。後に改名し、日本初の総理大臣・伊藤博文として歴史に名を残している。彼の木製の通学用リュックサックは、貴重な工芸品として寺に保管されている。

近年では、2004年のNHK大河ドラマ「新選組」や「名探偵コナン」の石灯籠が謎を解く重要な役割を果たすエピソードなどに取り上げられている。

住所：山口県萩市南古萩町6

電話番号 0838-22-3031

営業時間：午前8時から午後5時まで（毎日）

入場料：¥200

アクセス：萩中央公園から西へ徒歩3分

Google マップのリンクはこちら